

## 主日礼拝

2023年2月26日  
午前10時30分前奏 「み神より離れまつらじ」  
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

- 1 全地よ、神に向かって喜びの叫びをあげよ。
- 2 御名の栄光をほめ歌え。  
栄光に賛美を添えよ。
- 3 神に向かって歌え  
「御業はいかに恐るべきものでしょう。  
御力は強く、敵はあなたに服します。
- 4 全地はあなたに向かってひれ伏し  
あなたをほめ歌い  
御名をほめ歌います」と。

(詩編 66:1~4)

## 頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち  
からはただ主にあれ、とこしえまで。  
アーメン。

## 受難節のリタニー

《受難節第1主日》

司式者：神さま、私たちはユダと同じように  
イエスさまを裏切ったことがあります。  
これからは私たちがもっとイエスさまに  
従うことができるように導いてください。

会衆：主よ、私たちがあわれみ導いてください。

司式者：弟子の一人であるユダがイエスさまを  
裏切り、ほかの弟子たちもみなイエスさまを  
見捨てて逃げてしまったことを思いつつ、  
このろうそくを消します。

(消火)

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 聖書 ルカによる福音書 4：1～13

新約(新共同訳) p107

1 さて、イエスは聖霊に満ちて、ヨルダン川からお帰りに  
なった。そして、荒野の中を“霊”によって引き回  
され、2 四十日間、悪魔から誘惑を受けられた。その間、  
何も食べず、その期間が終わると空腹を覚えられた。  
3 そこで、悪魔はイエスに言った。「神の子なら、この  
石にパンになるように命じたらどうだ。」4 イエスは、  
「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」  
とお答えになった。5 更に、悪魔はイエスを高く引き上  
げ、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せた。6 そし  
て悪魔は言った。「この国々の一切の権力と繁栄とを与  
えよう。それはわたしに任されていて、これとと思う人に  
与えることができるからだ。7 だから、もしわたしを拜  
むなら、みんなあなたのものになる。」8 イエスはお答  
えになった。

「『あなたの神である主を拜み、  
ただ主に仕えよ』

と書いてある。」9 そこで、悪魔はイエスをエルサレム  
に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて言った。「神  
の子なら、ここから飛び降りたらどうだ。10 というのは、  
こう書いてあるからだ。

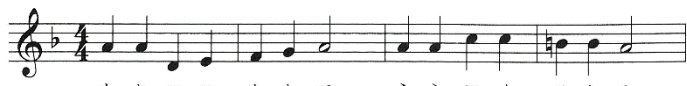
『神はあなたのために天使たちに命じて、  
あなたをしっかりと守らせる。』

11 また、

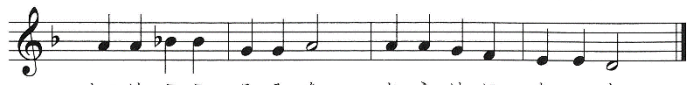
『あなたの足が石に打ち当たることのないように、  
天使たちは手であなたを支える。』」

12 イエスは、「『あなたの神である主を試してはなら  
ない』と言われている」とお答えになった。13 悪魔はあら  
ゆる誘惑を終えて、時が来るまでイエスを離れた。

賛美 284 「荒れ野の中で」



1. あれののなかで うえにくるしみに  
 2. このしゅにつづき われらもともに  
 3. わがゆくみちの くらいと  
 4. しゅはよのあれの あゆむわれらと



しゅはこころみをおうけになつた  
 いのりたやさず したがいてあゆもう  
 しゅよゆくさきを てらして ください  
 ともにおられる しょうりのひまで

- 1 荒れ野の中で 飢えに苦しみ 3 わが行く道の 暗い時にも  
 主は誘惑を お受けになった。 主よ、行く先を 照らしてください。
- 2 この主に続き われらと共に 4 主は、世の荒れ野 歩むわれらと  
 祈りたやさず 従い歩もう。 共におられる、勝利の日まで。

説教 「なにを大切にするのか」

賛美 510 (1,2,4) 「主よ、終わりまで」

O Jesus, I have promised  
 詞: John E. Bode, 1816-1874

ANGEL'S STORY  
 曲: Arthur H. Mann, 1850-1929



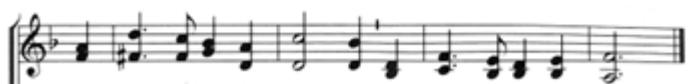
1 主よ、おわりまで しもべとして  
 2 この世のさかえ 目を惑わし、  
 3 しずかにきよ いみこえにより、  
 4 主はやくそくをか たたくまもり、



あなたにつかえし たがいます。  
 ▶ ゆわくのこえみ にみちで、▶  
 ▶ おかたりく ださい、主よ、みことば。  
 ▶ おわりの日ま でみ ちびか れる。▶



世のたたかいははげしくても、  
 ▶ てきはそとにもう ちにもある。▶  
 ▶ こころのあらしふき あれても、  
 ▶ わたしはここにちか いをた て、▶



主がみかたならおそれはない。  
 ▶ おまもりく ださい、主よ、わたしを。  
 ▶ きかせてく ださい、主よ、みこえを。  
 ▶ 主よ、おわりま でし たが いま す。

- 1 主よ、終わりまで しもべとして  
 あなたに仕え したがいます。  
 世のたたかいは はげしくても、  
 主が味方なら 恐れはない。
- 2 この世のさかえ 目を惑わし、  
 誘惑の声 耳に満ちて、  
 敵は外にも 内にもある。  
 お守りください、主よ、私を。
- 3 静かにきよい み声により  
 お語りください、主よ、みことば。  
 心のあらし 吹きあれても、  
 聞かせてください、主よ、み声を。
- 4 主は約束を かたく守り、  
 終わりの日まで みちびかれる。  
 私はここに 誓いを立て、  
 主よ、終わりまで したがいます。

派遣

司式者 主は言われます。  
 「わたしは誰を遣わすべきか。」  
 会衆 わたしがここにおります。  
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 大代 恵  
 説教 向井 希夫牧師  
 奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、  
 座ったままで礼拝をお守り下さい。  
 ※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。